

Ⅲ 栃木県総合教育センターの取り組み

2. 「県生涯学習ボランティアセンター」での活動

(1) パソコンボランティア登録者による「パソコン相談会の試行」

①背景

- 登録者に活動の場の提供
平成9年より総合教育センター内に「栃木県生涯学習ボランティアセンター」を開設し、ボランティアの個人及び団体登録を行っている。ボランティアセンターの一つの課題は、登録者されても、活動の場の提供の機会がなかなか見つからない人がいることである。そこで、ボランティアセンターから、パソコンが得意なボランティア登録者に、「初心者に対するパソコン相談」の実施を呼びかけた。
- パソコン初心者へのフォロー
「IT講習会」を県民の約5%が受講し、パソコンの初心者が急増した。それをきっかけに、パソコンを購入した人も多いが、いざ自宅等で使ってみるとわからないことばかり。総合教育センターに「IT講習」実施中から、パソコンの使い方に関する電話による学習相談が来るようになった。初心者に対する電話による対応には理解に限界があり、面談による相談が効果的と思われた。
- IT講習会整備パソコンの活用策
総合教育センターに整備されたパソコンはノート型パソコンが60台。センター内の研修室一部屋をパソコン専用の研修室として確保し、常設された30台の受講者用と講師用パソコン1台を常時インターネット接続と無線でプリンター接続が可能な状態にし、利用の促進をはかった。
また、総合教育センター内のすべての一般研修室で無線LANによりインターネットが利用できるようにし、研修時におけるインターネットによる情報収集等も含めたパソコンの利用促進のための所内LANの環境整備を行った。

②実施内容

事前研修会及び事前打ち合わせ「パソコンに関する学習相談と実技指導」

平成14年3月2日(土)午後1時30分～4時30分

内容 講話「メディアボランティア活動の企画・運営について」

実習「基本操作の確認と指導のポイント」

講話「情報リテラシーの意義とコミュニケーションづくり」

募集 栃木県生涯学習ボランティアセンターパソコン関係登録者・県内大学等

参加者 17人

参考 ボランティアセンター登録者(平成15年12月末現在)

個人登録 335人 団体登録 163団体



- 「パソコン相談会」の試行

日時：平成14年3月9・16・23・30日(土)午後1時30分～4時

会場：総合教育センター2階202研修室

(「IT講習会」で整備したパソコン31台使用可能)

内容：「IT講習会」の他、パソコンに関する初歩の相談活動

相談体制：ボランティア6～7人と総合教育センター職員2名

広報：新聞、インターネット、チラシ等で開催を広報

その他：ボランティアに対しアンケートの実施

- 反省会の実施

日時：平成4月20日(土)午後2時～6時

内容：「メディアボランティア相談」実施上の反省点

「メディアボランティア相談」今後の在り方

【パソコン相談風景】

10代から80代の方が相談に訪れる。